

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

⚠危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

- お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。
- ⚠** 気をつけていただく内容です。
- ⊘** してはいけない内容です。
- !** 実行しなければならない内容です。

■使用上のご注意

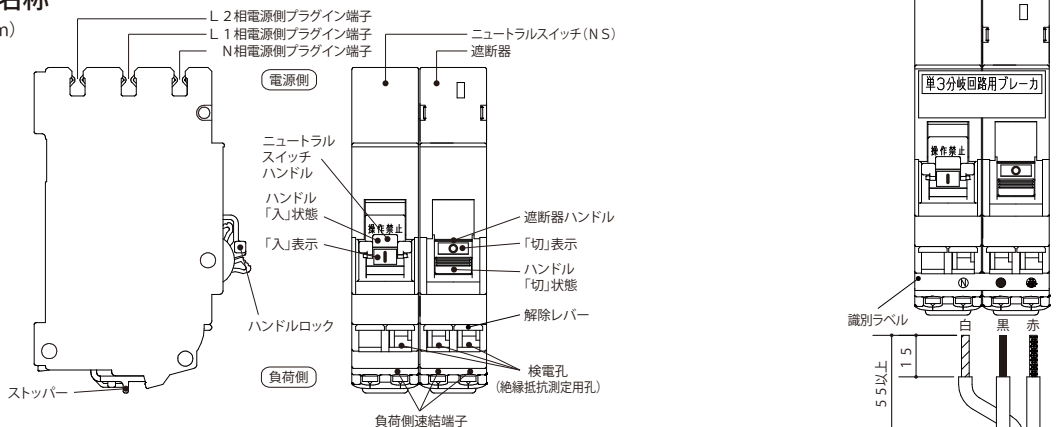
⚠危険	端子部に触れないでください。感電のおそれがあります。	
⊘	8.5倍を超える瞬時電流がある負荷には使用できません。 ニュートラルスイッチで負荷側の開閉はしないでください。	!
!	ハンドルロックは遮断器とニュートラルスイッチとのインターロック機能がありますので操作手順に注意してください。	

■施工上のご注意

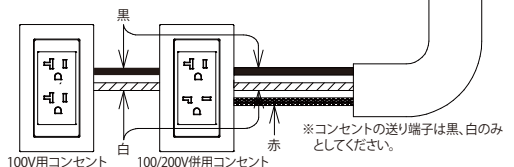
⊘	高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常環境に設置しないでください。感電、火災、動作しないおそれがあります。 1つの連結端子に2本以上の電線を差込まないでください。 取扱説明書に記載してある使い方と異なった取扱いをしないでください。機器の故障や、けがをするおそれがあります。	!
!	電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。 配線作業は、上位遮断器を「OFF」にし、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。 本体の定格にあった電源に接続してください。不動作および故障の原因となります。 ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物および雨水などが遮断器内部に入らないように施工してください。火災、動作しないおそれがあります。	

■各部の名称

(単位:mm)

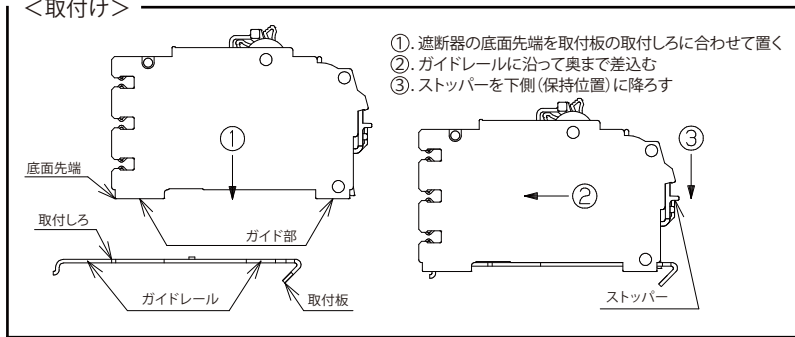


- 負荷側連結端子付近に貼付けてある識別ラベルの色表示と相表示に、電線の色を合わせて接続してください。
- 施工後はニュートラルスイッチのハンドルを「ON」(表示: I)にしてから遮断器のハンドルを「ON」にしてください。
- 回路点検時には遮断器のハンドルを「OFF」(表示: O)にしてからニュートラルスイッチのハンドルを「OFF」にしてください。遮断器のハンドルが「OFF」になってもニュートラルスイッチのハンドルは連動して「OFF」になりません。



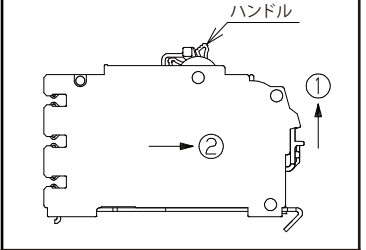
■本体の取付け・プラグイン端子の接続

<取付け>



<取外し>

- ①. ストッパーを上側(取外し位置)に上げる
- ②. ハンドルに指を掛けて負荷側に水平に引く



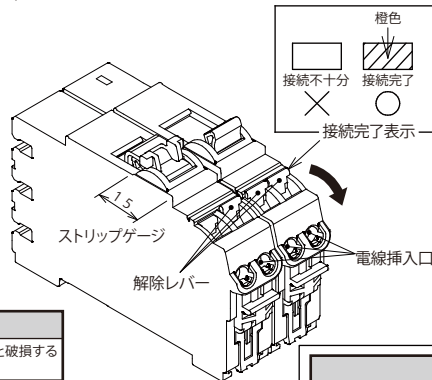
■速結端子への接続 (単位:mm)

<電線を接続する場合>

1. 電線の被覆を本体のストリップゲージに合わせて15mmむいてください。
2. 電線を電線挿入口に入れ、橙色の接続完了表示が出るまで差込んでください。(電線挿入角度は約15°です。)

<電線を抜く場合>

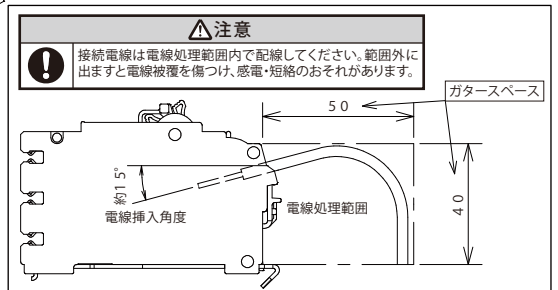
- 解除レバーを矢印方向に押しながら電線を引いて抜いてください。(解除レバーの操作力は約7Nです。)



接続電線: $\phi 1.6 \cdot \phi 2.0$ Cu (銅) 単線専用
(ヨリ線および $\phi 2.6$ 単線の場合は棒圧着端子使用)

ヨリ線サイズ	適合棒圧着端子
1.25mm ² ・2.0mm ²	<ニチフ製> TC2-20 (棒圧着端子) VC2 (絶縁キャップ)
3.5mm ² ・5.5mm ²	<日東工業製> シールドキャップ入り 棒圧着端子NA8030R,S,T
$\phi 2.6$ 単線	

⚠注意	
⊘	電線の押込み荷重が高すぎる(100N以上)と破損するおそれがあります。
	1つの挿入口に2本以上の電線を差込まないでください。
!	電線を差込んでも橙色の接続完了表示が出ない場合は接続が不十分です。電線のむき長さ・変形を確認の上、接続し直してください。
	電線が変形・腐食している場合は、電線をむき直してから接続してください。火災の原因となります。



■動作

- ・過電流や短絡事故が発生した場合、自動的にトリップし電路を遮断します。
- ・トリップした場合の動作表示
ハンドルがOFFの位置(ハンドル表示は○)に止まります。

⚠注意	
!	ハンドルの再投入<ON(ハンドル表示は■)>後、即動作するときは負荷回路が短絡状態か、遮断器が異常です。このような異常が生じた場合は電気工事店へ点検を依頼し、原因を取除いた後ハンドルをONにしてください。

施工業者名	
TEL	施工年月日 年 月 日

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がありましたら弊社のお客様相談室にお問合わせください。
この取扱説明書の内容は2012年2月現在のものです。

C905330002